学校番号	3015

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合(古典)	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	国語総合　改訂版　古典編　（大修館書店）						
副教材等	これでわかる明快古典文法（いいずな書店） 改訂版体系漢文（数研出版） 読み解く古典１（浜島書店 ） 新版理解を深める核心古文単語 351（尚文出版） トータルサポート新国語便覧（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・古文・漢文の本文は、必ず音読しましょう。
・予習として必ず本文をノートに写し、意味調べをしておきましょう。授業の後には内容を振り返って復習し、文法知識や古文単語は自分なりに整理し、少しずつ覚えていきましょう。
・古文単語や文法は小テストを随時行います。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・古典文法や古文単語の基礎を勉強し、簡単な古文の内容がおおまかに読み取れるようになる。
・訓読や句法の基礎を勉強し、簡単な漢文の内容がおおまかに読み取れるようになる。
・古文単語や文法の小テストの勉強をし、基礎的な知識の定着をはかる。
・補助的に副教材を活用することで、文章読解練習を行い、多くの古典に接する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート・副教材など）			記述の確認及び分析（副教材など） 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、副教材など） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	古文入門	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 文法等…歴史的仮名遣い、単語の分け方	◎			○	◎	a:古文に親しみをもち、意欲的に学習に取り組む。 d:古語の意味を確認しながら、場面状況や登場人物の心情を読み味わう。 e:歴史的仮名遣い、文語と口語の違い、古典文法の基礎について理解する。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認 定期考査 e:定期考査
	漢文入門	「漢文とは」 句法等…訓点、書き下し文	◎			○	◎	a:漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解する。 d:格言や成句、故事の意味を理解する。 e:漢文訓読に必要なきまりを理解する。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認 定期考査 e:定期考査
	随筆	『徒然草』 「これも仁和寺の法師」 文法等…文語の動詞の活用	○			○	◎	a:まとまった分量の古文を読むことによって、より古文に慣れ親しむ。 d:話の展開に即して内容を理解し、作者のものの見方や感じ方を読み取る。 e:用言の活用について理解している。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認 定期考査 e:小テスト 定期考査
2学期	故事成語	「蛇足」 「五十歩百歩」 句法等…書き下し文、現代語訳	○			◎	○	a:平易な漢文を繰り返し音読し、内容を理解する。 d:日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぶ。 e: 漢文訓読に必要なきまりを理解する。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認 定期考査 e:小テスト 定期考査
	物語	『伊勢物語』 「芥川」 「あづさ弓」 文法等…文語の用言・助動詞の活用	○			◎	◎	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組み、随筆の文章表現について理解する d:話の展開に即して内容を理解し、作者のものの見方や感じ方を読み取る。 e:用言の活用について理解している。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認 定期考査 e:小テスト 定期考査
	唐代の詩	絶句「絶句」 律詩「春望」 句法等・・・漢詩の形式	○			◎	○	a:唐代の詩を繰り返し音読し、漢詩の韻律に親しむ。 d:詩に表現された心情を読み取り、それに対する自分の意見や感想を持つ。また、そこに見られる人間観、自然観についても理解する。 e:近体詩のきまり（詩形、押韻、構成、対句）や唐詩の流れについて理解する。	a:行動の観察 記述点検 d:記述の確認 定期考査 e:小テスト 定期考査

	日記	『土佐日記』 「門出」 「帰京」 文法等…文語の助動詞の活用	○			◎	◎	a:教材に興味を持って意欲的に取り組み、歌物語の特徴を理解し、関心を高めている。 d:登場人物の状況をつかみ、作中の歌を物語の文脈にそって解釈する。 文章の展開や表現技巧についての作者の工夫をつかむ。 e:作中の文学的意義を理解する。また、助動詞・動詞について理解する。	a:行動の観察 記述点検 d:記述の確認 定期考査 e:小テスト 定期考査
3学期	和歌	『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』 文法等…修辞の理解	○			◎	○	a:和歌の優れた表現に親しむ。 d:和歌に詠まれた思想・感情・情景を読み取る。 e:和歌の修辞技巧やそれぞれの和歌集の時代の表現上の特色を理解する。	a:行動の観察 記述点検 d:記述の確認 定期考査 e:小テスト 定期考査
	唐代の文章	「雑説」 句法等…句法の復習と読解	○			◎	○	a:比較的長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 d:文章の内容を理解することで、作者の考え方を読み取る。 e:作品の時代背景について理解する。	a:行動の観察 記述点検 d:記述の確認 定期考査 e:小テスト 定期考査
	軍記	『平家物語』 「祇園精舎」 「木曾の最期」 文法等…文語の用言・助動詞の活用	○			◎	○	a:教材に興味を持って意欲的に学習に取り組み、随筆の文章表現について理解する d:話の展開に即して内容を理解し、作者のものの見方や感じ方を読み取る。 e:用言・助動詞の活用について理解している。	a:行動の観察 記述点検 d:記述の確認 定期考査 e:小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。